NO. 210993

NMR法で調べられる高分子材料の物性

～その基礎と応用～

1名分料金で
2人目無料

◆日時：2021年11月16日（火） 10：30～16：30
◆会場：あなたの職場や自宅のPCで受講可（WindowsPC推奨）
◆聴講料 ： 1名につき49,500円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
・1名でお申込みされた場合、1名につき38,500円
・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料（2名で49,500円）

セミナーお申込みFAX
０３－５８５７－４８１２
※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：名古屋工業大学　大学院　工学研究科　生命応用化学専攻　准教授　工学博士　吉水 広明　氏

≪講座の趣旨≫

NMR法は高分子分析の重要な方法の一つですが，今なお発展し続けており，関連知識の獲得は際限なく，且つそのレベルは決して低くありません。一般にNMR法は化合物の化学構造の特定に用いられていますが，その応用範囲は物性評価に通じるものも多々あります。

本講座ではNMR法による高分子材料分析の基礎知識から最新テクニックの一部をわかり易く解説します。特に応用編として，物質拡散現象の評価手法を取り上げ，その基礎原理からいくつかの実施例までを紹介します。

≪習得できる知識≫

・NMR測定の基本原理や条件設定に関する基礎知識
・NMRスペクトルチャートの見方と解析方法に関する基礎知識
・高分子材料の構造には静的構造と動的構造があること
・高分子材料中における
　物質の拡散特性を評価する手法とそのポイント

≪プログラム≫

1. 基礎編
1-1.分光学的分析におけるNMR法の位置
1-2.高分子材料における階層構造の概観
1-3.NMRの基礎原理―はじめに知っておきたいこと
・核スピン
・共鳴条件
・自由減衰振動(FID)とフーリエ変換
・化学シフト値、など。

2. 応用編
2-1.溶液NMR法で化学構造を決定する
2-2.固体NMR法で
凝集高次構造と分子運動を決定する
2-3.Xe-129 NMR法による凝集高次構造評価
2-4.PFG NMR法による拡散特性評価

【質疑応答】

※職場や自宅のノートPCでオンライン会議アプリZoomを使って受講できます。受講方法は申込後にご連絡いたします。

『NMR法』WEBセミナー申込書　FAX：03-5857-4812

会社・大学			
住　　所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E－Mail
①		
②		

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。　□Eメール　□ 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要事項をご明記の上、FAXしてください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧下さい。
⇒ https://www.rdsc.co.jp/pages/entry

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧下さい。
⇒ https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy

R & D SUPPORT CENTER
株式会社Ｒ＆Ｄ支援センター　https://www.rdsc.co.jp/
〒135-0016　東京都江東区東陽3-23-24　VORT東陽町ビル7階
TEL　03-5857-4811
FAX　03-5857-4812